



一般社団法人

# JWMTO トピックス

Vol. 23

2019年2月12日発行



ヒトの未来を支えあうチカラ

1. 事務局からお知らせ
2. 活動報告
3. 広報より
4. お客様より寄稿
5. スポンサー様より

# 1

## 事務局からお知らせ

一部運輸支局に向けて情報公開請求を行い、各運輸局管轄内の福祉限定事業者数のデータを取得しております。  
事務局にご連絡いただければデータを参照していただけます。

# 2

## 活動報告

2019年正月明け、関澤理事長と東谷事務局長が西日本の関係団体と面談を行ってまいりました。

- ・1月7日 : (一社)福祉限定協会・三重支部と面談
- ・1月9日 : 福岡市、板倉タクシー(株)加地社長と面談
- ・1月9日 : (一社)熊本県福祉タクシー協会と面談
- ・1月10日 : 九州運輸支局旅客2課にご挨拶
- ・1月10日 : 広島県呉市、ひがき美良市議会議員(公明党)と面談
- ・1月10日 : (一社)日本福祉車両協会、新宮理事長と面談

# 3

## 広報より

### 「走れ！介護タクシー」絶賛放送中！

全国の理事の皆様のご協力のおかげ様で2年目を迎えました。

- ・本放送は毎週水曜日 11:30 ~
- ・再放送は毎週日曜日 10:30 ~

ブログのアーカイブ(過去録音)と違い、  
放送では番組でかける音楽も聴く事ができます。  
そちらも合わせてお楽しみください!!

(スマホで TuneInRadio を DL、「すまいる FM」で検索)

(スマホで ListenRadio を DL、「クローバーメディア」をお気に入りに追加)

- ・「アメブロ」での聴取、内容確認はこちらから

<https://ameblo.jp/jwmtto-radio/>



今回のトピックスでは、北海道札幌市で福祉限定タクシーをご利用されている、NPO 法人ホップ障害者地域生活支援センターの代表、竹田保様にご寄稿いただきました。お忙しい中のご寄稿、ありがとうございます。



一般社団法人日本福祉医療輸送機構会員の皆様、関係者の皆様、はじめまして。

私は北海道札幌市に住んでいる、NPO法人ホップ障害者地域生活支援センターの代表をしている竹田です。電動車いすを使用して生活していますが、患者会や関係団体の会合などで上京の際には関澤理事長に連絡させて頂き、福祉タクシーを利用させて頂いています。

SMA（脊髄性進行性筋委縮症）という病気を発症し、幼児期から全身の筋力が衰退し、歩いたという記憶がほぼありません。10歳から車いす、20歳から電動車いすを利用していますが交通機関と車いすの相性の悪さに悩まされてきました。

電動車いすを使い始めた80年代は、国際障害者年の影響もあり社会全体が障害者への関心が高まり、交通機関のバリアフリーも意識されるようになりました。当時、札幌市営地下鉄のエレベーターは2か所設置されていましたが、利用時間は9:00～17:00まで。入口は鍵がかかったチェーンで閉じられ、利用する際には駅事務所で身分証明を提示し、氏名、生年月日、住所、行先、帰りの予定時刻を告げなければ利用できませんでした。

福祉タクシーも市内に数台で、1週間前に予約しても利用できないという状況でした。90年代の高齢化社会への対応やゴールドプラン推進、95年に発災した阪神・淡路大震災では、後にボランティア元年と言われるほど多くのボランティアが全国から集まり、意識変化は2000年の介護保険導入によって、NPOによる有償運送、介護タクシーへと繋がっていったと思います。

福祉・介護タクシー事業者の皆様も障害者の社会参加理解や社会貢献といった理由で起業された方も多いと思います。一、車いす使用者ユーザーとして、紙面をお借りして心より敬意と感謝を申し上げます。

私にとって外出時の移手段の確保は必要不可欠なものです。常々重く押し掛かる課題でもあります。電動車いすのバッテリーは連続使用4時間が限界のため通常の生活では支障を感じる程ではありませんが、外出時にはバッテリー残量を意識しながら行動しなければ身動きが取れなくなることもあります。電車、地下鉄、バスなどのバリアフリー化も進み利用する機会も多くなってきましたが、降雨や降雪時を含めて福祉タクシーの利用は欠かせません。

今回の北海道胆振東部地震による北海道全域で発生した大停電では、在宅の障害者、高齢者等は停電によって人工呼吸器や酸素機器などのバッテリーがいつ途絶えるかという不安と恐怖の中で、病院へ緊急入院した方もいました。停電で信号が絶え福祉タクシーを利用した方も多かったと聞きます。救急車は本人を乗せても、車いすを乗せてはもらえない。「行きは良い良い、帰りは怖い」福祉タクシー拡充を願う理由の一つでもあります。

2020年東京で開催されるオリ・パラでは世界から多くの障害者や高齢者の方も来られると思います。対応策としてJapanタクシーなどのユニバーサルタクシーの導入が推し進められていますが、電動車いすやリクライニング車いすには適してないだけでなく、通常の車いすの乗降にも対応に時間がかかり、各地で乗車拒否が起きていると聞きます。早急な改善を求めたいと思います。

福祉タクシー事業者の廃業や撤退が多いと聞きましたが、社会参加、生命維持を支える必要不可欠なサービスが危機に瀕しているのはユーザーにも責任の一端があり、事業者、ユーザーが共に個別移動がどうあるべきか、具体的な実効策を提言することで明日へと繋げて行かなければならないと思います。

最後に、関澤理事長はじめ会員の皆様へ感謝を申し上げます。

NPO 法人ホップ障害者地域生活支援センター代表 竹田保



竹田保様



# 介護現場に すぐに役立つ IP 無線



SoftBank 301SJ

## 1. IP 無線とは？

「ソフトバンク 3G 回線を使用した業務用携帯型トランシーバです。

ソフトバンク 3G サービス内では日本全国で通話が可能、GPS 機能搭載で位置情報・状態の確認が可能です。通話モードは一斉 (1:N)、グループ、個別 (1:1) などがあり、無線特有の同報性、即時性で重要な情報が即時に伝達出来ます。

\*詳細は → <http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/201sj/>



## 2. ご利用シーン



車両を複数台ご使用の事業者様での業務連絡 (出発・完了、緊急時等)。携帯電話と違い一斉通話にて即時に情報共有が可能です。

## 3. 導入メリット

事業者間で業務の状況が確認・共有でき、お客様からのお問い合わせ等に直ぐに回答でき、お客様からの信頼向上、配車回数の増加など業務の効率化が期待できます。



東京

TEL 03-5777-3974 FAX 03-3434-8117  
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー12F

大阪

TEL 06-4797-7610 FAX 06-4797-7635  
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-2-6 東洋紡ビル4F

公式サイト

<http://www.seiryodenki.co.jp/>





**発行元**

一般社団法人 日本福祉医療輸送機構 JWMTO

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-6-9 ジュネシオン竜泉101

発行責任者：理事長 関澤俊夫

TEL：03-5849-4199 FAX：03-5849-4210

公式サイト：<http://www.jwmto.or.jp/>

